

アグリカレッジ福島

福島県農業総合センター農業短期大学校

令和7年度長期就農研修 NEWSLETTER（5月分）

研修生は自分専用の施設・ほ場で精力的に活動しています！

研修生同士が研修進捗状況を報告・共有しました！



令和7年5月2日に実績報告（4月分）と計画（5月分）について、各研修生が自分の言葉で発表を行いました。研修生からは「作業計画が天候によって何度も修正を迫られたので次月は余裕を持った柔軟性のある計画を立てたい」など、早くも次を見据えたコメントがありました。

研修進捗状況報告の様子（露地ほ場にて）

また、農作業の安全を推進するために、農作業中のヒヤリハットを共有したところ、研修生から「ハウスの中が思いの外暑く、熱中症になりかけたので、こまめに休憩するようにしたい」との体験談があり、我々が熱中症について注意喚起するよりも、他の研修生に響いたようでした。



研修進捗状況報告の様子（ハウスにて）



研修進捗状況報告の様子(まとめ)

他の研修生のハウス（ほ場）を見ることは、とても刺激を受けるとともに大いに勉強になったようであり、終盤には質問が相次ぎました。

研修生奮闘記



病害の防除作業（写真：後藤創紀氏）

定植までの流れを逆算して、必要なものは何かなど、しっかり準備できるようになりたい。

作業計画が天候によって、何度も修正を迫られた。次月は余裕を持った柔軟性のある計画を立てて、作業したい。



ネギの定植作業（写真右：I氏）



就農研修（初級）受講の様子
（写真手前：渡部佑樹氏）

農業をやるにあたって、最終目標がしっかり見えていないと、資材の調達がうまくいかず、作業効率が悪い。手間と時間がかかりすぎて、余計な体力を使ってしまった。

長期就農研修生は、就農研修（初級）と、就農研修（中級）を無条件で聴講することができます。詳しくは、こちらのページを御覧ください。

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37207a/syunou19.html>

肥料計算が難しく、畝立ても意外に大変で苦労した。



就農研修（中級）受講の様子
（写真左：O氏）



ブロッコリー定植作業準備
（写真：箭内由香氏）

トマトについてはわき芽ではなく、生長点をかいてしまった。注意したい。

実家は水稲 18ha を経営しているが、密苗やプール育苗は行っていない。ここで学んで、来年は挑戦したい。



水稲の密苗及びプール育苗について指導を受ける様子（写真右：大河原幸枝氏）



トマトの鉢上げ作業（写真：佐々木寛史氏）

露地ほ場を耕うんした後、しばらくしてからマルチを張ったが、その間に雑草が生えてしまった。次回は耕うん後、速やかにマルチを張りたい。